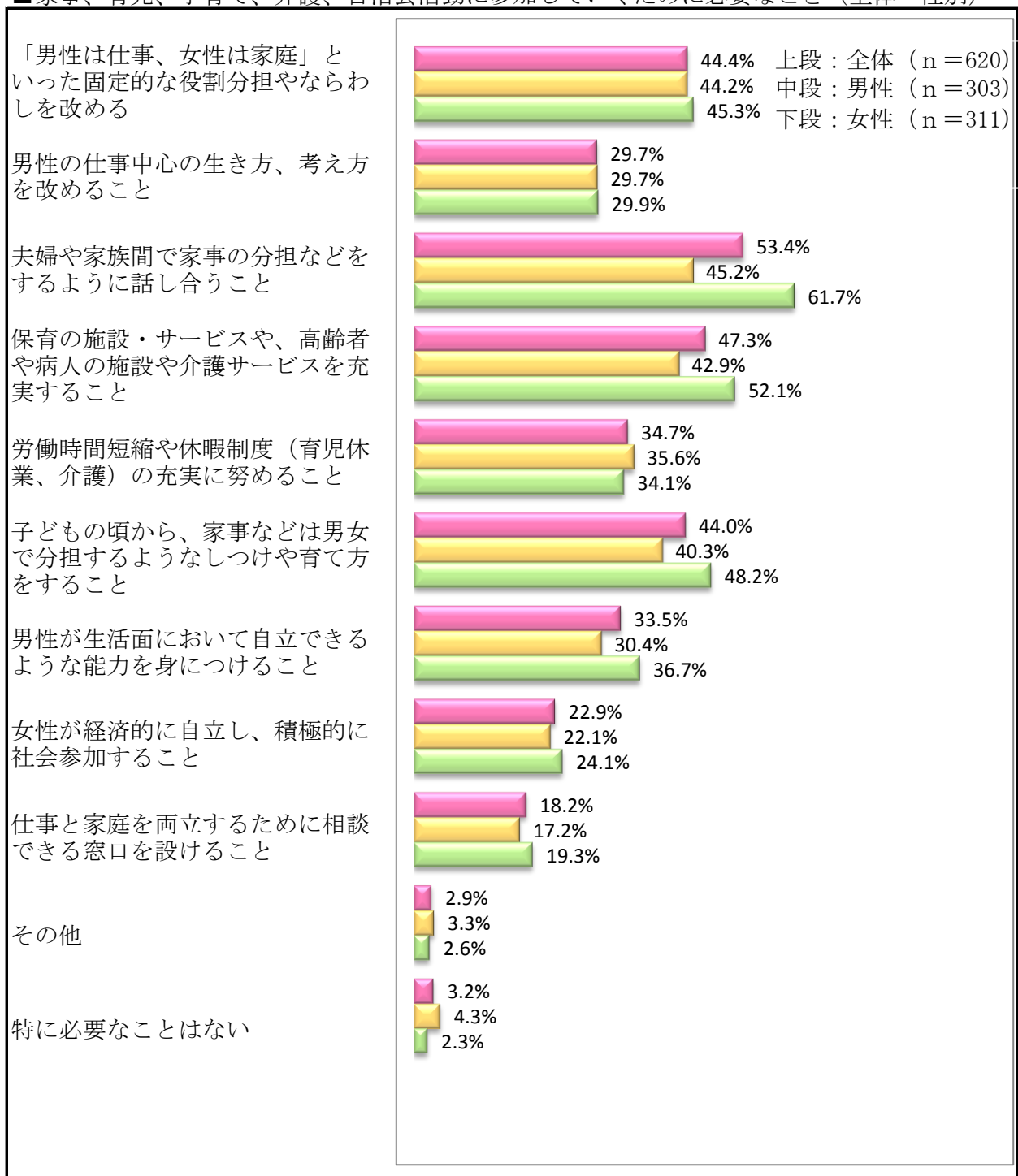


問9 男性が女性とともに家事、育児、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと

全体では、「夫婦や家族間で家事の分担などをするように話し合うこと」が最も多く53.4%、次いで「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実すること」が47.3%となっている。男女別でみると、「夫婦や家族間で家事の分担などをするように話し合うこと」が男性45.2%に比べ、女性が61.7%と女性が16.5ポイント、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実すること」は男性42.9%に比べ、女性が52.1%と女性が9.2ポイント高くなっており、女性が男性に積極的に参加して欲しいと感じている。

■家事、育児、子育て、介護、自治会活動に参加していくために必要なこと（全体・性別）



「その他」と回答した人の意見

- ・先ず、家庭生活が出来る「お金」が必要で、「お金」が無いのが最大のネックである。子育ても、地域活動も同じである。
- ・勤務時間と休日が同じ日数又は、休日が多くある。それでいて、生活していけるだけの所得・給与がある。
- ・お互い出来る事をすればいい。
- ・女性が強くなる事ではなく、男性の取組もうとする気持ちを大切にし、取組む姿を認め、支えていくことが必要と思う。
- ・本人がやることが分かってしっかりしていれば、子供は親の背を見て育つ。
- ・賃金の平等、ワークシェアリング、職場内保育所の設置
- ・今の30代は今の60代の人より男性も家事、育児などするようになっていると思う。
- ・共稼ぎが出来る体制をつくって欲しい。仕事が出来ない理由は、男女の役割の問題ではありません。病気になった子がいれば、保育園は面倒を見てくれません。男女の話では、ないのです。
- ・家事分担等を家族間で話し合うことに限界があると思う。このようなアンケートを取るのであれば、もっと市や県、団体等が具体的に家事分担等を広めていく必要があると思う。メディアを利用して、CMを常に流すとか、町内放送で定期的に(月1回~2回位)流すとかする必要がある。
- ・夫婦の考え方による
- ・昭和生まれの人、平成生まれの人、それぞれ考え方がちがいますから平成生まれの人は物も有り、お金も物もある時代に生まれ、私としてはわがままな点、昭和生まれの人はお金も物もない時代に生まれその分だけ、物を大切にして生きてきました。考えもそれぞれあると思います。
- ・男性、女性と平等は無理な所があるとみんなが認める事
- ・福祉の充実、地域では就労していても参加できる体制や、支援づくり
- ・地域活動の縮小
- ・得意な分野、不得意な分野を理解して分担する。
- ・男性はもう少し女性に対し、心遣いが必要だと思います。この人は、控えめの人だと思った時に特に思いました。
- ・家族の話し合いの時間が必要